

総じて振り返れば、今年も武雄を動かしてきたのはやっぱり「人」だった。

武雄に関わる全ての人が武雄を活発にしている。後押しするように、武雄からの発信や共感が紡いできた人の「縁」の連鎖もまた、垣根や境界無くどこまでも広がっていくのだ。

2015年は新たに、また、相も変わらず「武雄TAKEO」が至るところで話題になるのだろう。そして市民が、関わった人が、誇らしく、故郷「武雄」の名を言葉に出してくれるならば、本当に素晴らしいことだ。

「武雄」という存在が、新たな幾多の「縁」を結ぶ年であってほしい。市民にとつて。そして日本だけでなく世界中において。

縁

